



根岸(佳)さん 私は生まれが群馬なので、皆さんよりも自然に対する有難みは薄いかもしれないですね(笑)。私よりも、大阪育ちの夫が満喫しているようです。「星を撮りに行く」と言って、夜中にカメラを持って山に出かけています。

現在、チャレンジしていること。今後、してみたいことは？

根岸(佳)さん パラは一般的に贅沢品とされているようで、日常的に飾る人は少ない気がします。もっともっと花のある暮らしを楽しんでほしいので、フラワーアレンジメントなどの講習会を積極的に開いています。お花に触れる体験を通して、その良さを知ってもらえたら嬉しいです。

岩田さん 農的な暮らしをたくさんの人に体験してもらいたいので、「農Café」のイベントはこれからも続けていきたいですね。あと、個人的な目標としては一生元気で働くことです。

松本さん 私も、いつまでも楽しく・元気に美味しいトマトづくりをしたいですね。近所には色々な農家さんがいるので、皆さんと協力しながら、地域の自然を守りつつ、農業の可能性をもっと広げていけたらいいですね。

根岸(聡)さん 県外の人に群馬の美味しい野菜を知ってもらいたいので、マルシェなど色々な場に参加していきたいですね。ただ、シーズン中は出かけられないので、シーズン以外に出かけられるよう、加工品の生産も始めたいなと思っています。松本さんは、加工品は自身で作っているのですか？

松本さん 自分で出来るものは自分で。それ以外は信頼できる業者さんをお願いしています。畑仕事をしていると、なかなか加工品をつくる時間がないので、無理せず、楽しくやるよう心掛けています。

村西さん 私は、収入の確保は大事ですが、家族の時間も大事にしていきたいので、そのバランスを日々模索中です。あと、自分の家で食べられる野菜を作れていないのは悔しいですね。農家なのに。スーパーで野菜を買うのに抵抗があるので、ナスばかり食べています(笑)。家庭菜園にチャレンジしたいですね。

松本さん わかる、わかる！私もなるべく買いたくないので、家用の野菜を色々作るようにしているんだけど、この間、たまたま野菜が無くなってしまって…。渋々、焼きそばに入れるキャベツを1個だけ買いました(笑)。

岩田さん とりあえず種をまいてみたら。家庭菜園は案外簡単だから、家でも色々な野菜が作れると思うよ。それか、ご近所の農家さんにナスを持って行って、物々交換するのもいいかも。



村西さん 物々交換、良いですね(笑)。今度、そうしてみます。

就農を考える女性に何かメッセージを…

根岸(聡)さん 私の場合は夫の実家が農家だったので、初期投資が掛からずにスタートできました。新規就農の場合、土地や機械など最初に掛かる負担は大きいですが、その分、支援もしっかりしています。色々考えずに、まずは行政などに相談するのが近道だと思います。新規就農者への支援はとても手厚いので。

松本さん 生産から加工まで、すべてに関わることができるのが農業の魅力だと思います。また、頑張った分だけ、ちゃんと成果が出るのも良いところ。ぜひ楽しみながらやってほしいですね。

岩田さん 農業がしたいと思っている方は、今すぐやってほしい！迷っている時間をもったいない。お手伝いも、もちろん大歓迎です！

高妻さん 自然を感じながら、体を動かす仕事は本当に気持ちが良いので、ぜひ体感してほしいですね。

村西さん 「案ずるより産むが易し」です。農業をやってみたいと思ったら、まずはその地域の人と繋がりを持つこと。そうすることで、分からない事や困った事など、自然と助けてくれます。新規就農の私たちは、周りの方に本当に助けられていますから。

根岸(佳)さん 農業の良いところは、頑張った分だけちゃんと成果がでるところ。それと、男性と対等に向き合えるところですかね。あとは、家族が協力し合いながら働けるので、子育てするにはとても良い環境だと思います。

みなさんとでも楽しそうで充実した様子を感じることができました。ありがとうございました。



松本 知恵さん

埼玉県ときわ町出身。会社勤めを経験した後、夫の実家のトマト農家に就農。栽培から加工品作りまで手掛ける。

→P8



根岸 佳世さん

みどり市出身。後継者としてパラ園に就農。夫が栽培、佳世さんが販売を担当。フラワーアレンジの講師としても活躍。

→P12



根岸 聡美さん

東京都世田谷区出身。結婚を機に、農家の長男である夫と共に農業を開始。露地野菜・米・ハーブを栽培。

→P6



村西 有希さん

千葉県我孫子市出身。地縁のない富岡市で夫と共に新規就農。ナス、キュウリやインゲン豆などを生産。

→P2



高妻 楓さん

埼玉県蕨市出身。東京農業大学農学部を卒業後、昭和村の「AK牧場」に勤務。子牛の飼育を担当。

→P14



岩田 紀子さん

樺東村出身。会社勤務を経て就農。梅の栽培に従事しながら、農的な暮らしが体験できる「農Café」を主宰。

→P4